



2026年：NPOディスレクシア協会名古屋主催

1月28日水  
10:00~12:00  
(受付 9:30~)

場所：名古屋市民活動推進センター(ナディアパーク6階)



無料  
会員外  
千円



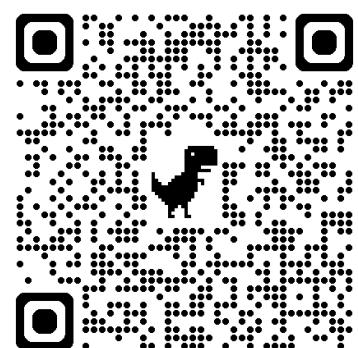
2025年、国際ディスレクシア協会(IDA)が  
ディスレクシアの定義を大幅に改訂しました。  
では、日本ではどのような定義になるのでしょうか。  
日本版の定義づくりを担っておられるのは、  
この分野の第一人者である 宇野彰先生 です。  
まだ正式な発表前ではありますが、  
今回の講習会では宇野先生をお招きし、  
直接お話を伺う貴重な機会を設けました。  
・今後の日本における展望  
・日本の学校のあり方の理想  
・合理的配慮の考え方

講師：宇野 彰 先生  
(元筑波大学教授)

40  
席

言語聴覚士。医学博士。病院勤務、国立精神・神経センター精神保健研究所治療研究室長を経て2004年より筑波大学。その間1995-1996カリフォルニア大学ディビス脳科学センター客員研究員。2016-2018筑波大学附属桐ヶ丘特別支援学校校長。

Association for Reading and Writing in Asia (ARWA)の礎となる団体の発足者(2018年2月筑波大学で国際学会を主催)。千葉県特別支援教育体制推進事業委員(2001-2015)、船橋市特別支援連携協議会座長(2004-2019)、船橋市特別支援教育専門家チーム座長(2006-2022)、柏市教育支援委員会委員(2019-現在)



申し込み締切 1月24日 <https://forms.gle/PCcob1WRhsv83FrL9>